シェイクスピア代表的歴史劇『ヘンリー五世』による

能　ヘンリー五世　　宗片　邦義

―「すべては王の責任。すべての兵士の命も。彼らの家族も。すべて」―

時、十五世紀
所、イングランドとフランス

人物

シテ・・・ヘンリー五世
ワキ・・・エクセター公爵（ヘンリー五世の叔父）
ツレ・・・フランス王妃
ツレ・・・フランス皇太子使節、および軍伝令官
間（アイ）狂言・・イギリス宮廷内廷臣二名、および兵士二名
地謡（男・女、各数名）、囃子（笛・小鼓・大鼓・太鼓）

前場（まえば）

［囃子ナシデワキ登場］

詞　ワキ「確カニ（カニ）こちらはイングランド宮廷にて、それがしはエクセター公爵と申します。本日はフランス皇太子より使節来訪とのことにて、間もなく陛下もこちらにお見えになります

「ところで（カエテ）陛下は。皇太子の頃は、遊び仲間のフォルスタッフと自由奔放以上の悪徳ぶりを発揮され、皇太子らしからぬ生活ぶりでございましたが、父君のヘンリー四世殿が亡くなられてより、豹変（ひょうへん）され、かつての皇太子をご存知の方は、これがあの皇太子かとお疑いになるかもしれませんので、予めお話しさせていただきました

さて、フランス皇太子からの使節来訪につきましては、先にわが国よりフランスへ、わが国領土の権限につきご確認下さるようお問い合わ

せを差し上げましたので、そのご返事と思われます。即ちフランスは歴史的には、わが陛下の曽祖父の頃より、我が国領土なのでございます

［シテ登場ノ囃子。ヘンリー五世、登場。玉座ニ着ク。
続イテ、フランス使節登場］

シテ（詞）「早速ながら（サラリ）、フランス皇太子のご意向をお伺い致そう

ツレ（使節）「わが国皇太子よりの、ご返事を申し上げます。率直のところ領土問題は、お若い陛下がお考えの如き簡単な問題にはあらずとのことにございます。そしてこの宝物の贈り物を、差し上げますようにと

シテ「なんです、その宝物とは　ワキ「テニスボールでございます

シテ「なるほど、これが国王となった今の私への贈り物か。（間）　使節、ご苦労であった。それに見合ったラケットができ次第、お伺いするとお伝えください。そして彼の父君の王冠を戴くまで、試合をすることになろうと

［フ使節、退席、入ル］

シテ（上歌ツヨ・合）「かかる無分別（むふんべつ）。嘲弄（ちょうろう）は　地（合・ツヨ）（男）（抑エテ）「かかる無分別嘲弄は。幾百（いくひゃく）千の夫（おっと）や妻や。息子を悲惨に至らしめ。その痛恨（つうこん）の責めは彼自らが背負うことに　シテ（詞）「諸侯（しょこう）よ、遠征の準備にかかるがよい。あの皇太子の父王の面前で叱り付けてやらねばなるまい

［中入り］

間（アイ）狂言　［廷臣二名登場］

廷臣一「聞いたかい、裏切り者の話。わがイギリス軍の中に、フランス王に買収された者がいるって話

廷臣二「聞いている。フランス遠征前にサウサンプトンで、ヘンリー王を刺殺せよと。陛下には、この陰謀が明るみに出たのは、定めし神のみ心と。されば遠征軍は神の御手にゆだねて出かけようと

廷臣一「その後、王の叔父のエクセター公爵が、王に代わって先ずフランス王に対面されたと。そのときの問答が立派なものだ

廷臣二「系図からも明らかなように、現王は、かの有名なエドワード三世の直系で、正当なフランス王位継承者。これまで不当に王冠と王国を簒奪（さんだつ）されてきた。それをお引渡し願いたいと

廷臣一「フランス王は、熟慮の上で返書を翌日にお渡ししたいと

廷臣二「ところがその場に居合わせたフランス皇太子が、それは自分の意志に反する故、雌雄（しゆう）を決したいと

廷臣一「現在の陛下は、かつての王子では全くない。この世のすべてを大事になさる方。その対話で決着がつかなかったとは

廷臣二「残念ながら、こうして戦闘が始まってしまった

［入ル］

後場（のちば）

［戦闘ノ囃子。王、登場。囃子静マリ］

シテ詞「平時（へいじ）には、物静かさと謙遜（けんそん）ほど男子（だんし）に相応（ふさわ）しいものはなし。されど敵の豪風（ごうふう）が耳元に唸（うな）るときには、筋肉（きんにく）引き締め勇気を振り絞れ。さ、明日に備えて皆は休むがよい。わしは考えねばならぬことがある。一人にしてくれ

［シテ、後見座ニ控エ、物着。兵士ノ服装ニ変装］

［兵士二名、橋掛リカラ舞台ニ登場］

兵士一「王様だって俺たちと同じ人間だ。戦いは恐いにきまってる

兵士二「王様が身代金を払えば、俺たちの命も助かるんじゃないか

兵士一「しかし大義名分は俺たちの王様にあるんだ。これは正義の戦いだよ

兵士二「しかし敵も味方も王様の家来だから、それで戦っているだけではないのか。だから俺達には罪はないんだ

［変装ノ王、近ヅイテクル］

兵士一「お前は誰だ

シテ「味方の者です。だが今の論法は間違っていないか。ひとりひとりの兵士

に対しては、命までは王様に責任はないのではないか
兵士二「それはなぜだい　シテ「神の目から見た、それぞれの人生というもの
がある。死ぬ前に、懺悔（ざんげ）とか、良心の塵（ちり）を洗い清めるとか。魂の問題だ。
そこは、偉大な神にお任せだ
兵士一「俺たちが死んだ後で、王が身代金を払って自分は自由になるとしたらどうだ
兵士二「そうなれば、二度と王様の言うことは信じない
シテ「しかし身代金を払うことは、絶対ないと王は言ったぜ。王と共に血を
流す者は兄弟。生きて帰れば、みな貴族になると
兵士一「そうか。それは俺たちを勇気づける言葉だ
兵士二「俺は王のために、精一杯戦う覚悟だ　　［兵士二人、退場］

［王、舞台上ニテ物着。王ノ姿ニ戻ル］

シテ（詞）「すべては王の責任。一国の支配者なれば。すべての兵士の。命も。彼
らの家族もすべて。すべては王の責任。彼が背負はねばならぬ。王と
は、そういうものではないか（We must bear all.）
地（男）「心の安らぎは犠牲にせよ。安眠をもてあそぶ栄華の夢はなし。そ
れが真の国王にてはなきか
シテ「ああ天なる神よ。わが父が
（祈リ）
地（上歌・合・ツヨ）「わが父が。王冠を手にせんがため犯したる。罪を。今日一日はお許
し下され。過去を思い。悔恨（かいこん）の情（じょう）つのりつつ。わがもろもろの罪を。
神よ。今日一日は。お許しくだされ。国民の。平安のため、王として。
私に可能なる。あらゆる責務（せきむ）を。果たします
［廷臣、ツヅイテフランス軍伝令官、駆ケ込ンデクル］
廷臣「フランス軍の伝令官が、陛下にお願いありと　フ伝令官「陛下の、お

慈悲(じひ)をお願いに参りました。わが兵は、金で雇(やと)われた傭兵(ようへい)が多く。しかし
その戦死者の中に、多数の貴族もあり。貴族と平民を識別(しきべつ)し埋葬(まいそう)する、お
許しをいただけますよう
シテ「勝利がまだわが方とは
フ伝令「いえすでに勝利は陛下のものです　［廷臣・フ伝令入ル］
シテ「(独語)もしもそうなら。それは私の力ではない。多勢(たぜい)に無勢(ぶぜい)。神のみ力によ
るものだ
［囃子。フランス王妃ほか登場］
地(サシ・ヨワ)（男）「かくてフランス王宮に。その後講和会議催され
シテ「平和のために集いたる。この集いに平和あれかし
(Peace to this meeting, wherefore we have met!)
われらが提案に。フランス王のご返答を
地（男）「フランス王。委員会にてご検討をと答へれば
シテ「われは加はらず。委員諸侯の英知にお任せ致します
シテ「(ヤサシク)お美しい姉上(あねうえ)は、私と共にここにお残りに
ツレ（王妃）(美シク)「私は王についてまいりましょう。もし難題(なんだい)がでましたら。女
の意見もお役にたつかもしれませず　シテ「(確リ)さればキャサリン王女だ
けは。ここにお残し願いたい。それ最重要項目(さいじゅうようこうもく)なり
「ツレ・ワキ、後見座又ハ囃子方ノ後ロヘ」
地（男）「かくて委員会進行中、王女が英語を解さねば、王はたどたどしい
英仏語にて。天使の如き美しさなど述べたれば。おからかひをと返さ
れて。ついに王は。ただウイとご返事いただければなど述べたれど。

答なく。最後に王女の答えしは

地（女）「父がいいと言ってくだされば　地（男）「王喜び。すでにあなたのお父上もお望みですと。王女の手に口づけし、さらに唇を求めたれば

地（女）「フランスに。結婚前のその習慣。ありません　シテ「偉大なる王は。一国の堅苦しい習慣などに囚われず　地（男）「われわれが。風俗習慣の産みの親。地位に伴う新たな特権。とて接吻す

［太鼓入ル。

キリ　　エクセター公爵、フランス王妃ホカ戻ツテクル」

地「面々これを見。片目を閉じて承諾を合図。交渉全てまとまりたれば。相争いたる二大王国。憎しみ捨てて。和解の心に新たな縁組

シテ「二度と流血あるべからず

地（男）「二度と流血あるべからずと誓い合えば

［シテ、誓ノ舞］

ツレ（王妃）「二つの心。二つの王国。神よ。一つに結ばせ給へ。

(Combine your hearts in one, your realms in one!)

イギリス人はフランス人とて。フランス人はイギリス人とて。相愛しませ。神よアーメンと宣い給へ　　［祈り］

(English may as French, French Englishmen, /
Receive each other! —God speak this Amen!)

地（男女）「　国と国とは隔つれど。国民と国民とは異なるも。心一つや

叶ふらん。心一つを祈りけり

註。ヘンリー五世（在位一四一三―二二）は、曽祖父エドワード三世以来の百年戦争を再開し勝利して、フランス王位継承権を獲得した。だが、実現に至る前に、三十一歳で没している。さらにその後、ジャンヌ・ダルクの出現によって、フランスは一四二九年にカレー以外再びフランス領となった。

Noh ***King Henry V***

Plot: King Henri V determines to fight with France and wins the battle of Agincourt and all articles of peace between the French and the English and the courtship with Katharine, daughter of the French King. The Queen of France prays both realms and the hearts of two nations be combined into one.